

『リクラス』 引違い窓 組立取付説明書

説明書番号 MN-1589
表

■本説明書では、お使いになる人や他の人の財産への損害を未然に防ぐため次のような絵表示をしています。

絵表示	意味
	取り扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険や物的損害の発生が想定されることを示しています。
	「必ず行なっていたく事」を示しています。

- お願い**
- 樹脂部材は局部的な衝撃に対して割れたり変形することがありますので、取扱いについては充分注意願います。(ハンマー等で直接たたかないで下さい。)
 - 直射日光を避け、建屋内の風通しの良い場所を選んで、保管するようにお願いします。
 - 炎天下に放置しますと、樹脂材が変形する場合があります。
 - 輸送の際には部材に直接荷重がかからないようダンボール等で固定して下さい。
 - ガラス厚3、4、5mm以外は使用できません。
 - ふかし枠・化粧額縁等付属製品は本製品よりも先に取り付けます。
 - 取付方法に関しては付属製品に同梱されていますのでご確認ください。

内容明細					
枠取付用 	障子横立用(マド) 	障子横立用(チラス) 	キャップ(障子用) 	障子ストッパー 	障子ストッパー取付用

※枠取付用ネジは余分に入っている場合があります。

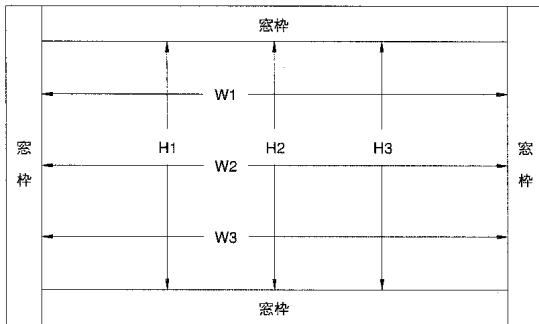
開口寸法の実測

- H1、2、3およびW1、2、3の寸法差が3mm以内である事を確認して下さい。＜図1＞
- 窓枠のたわみが±1.5mm以内である事を確認して下さい。＜図2＞

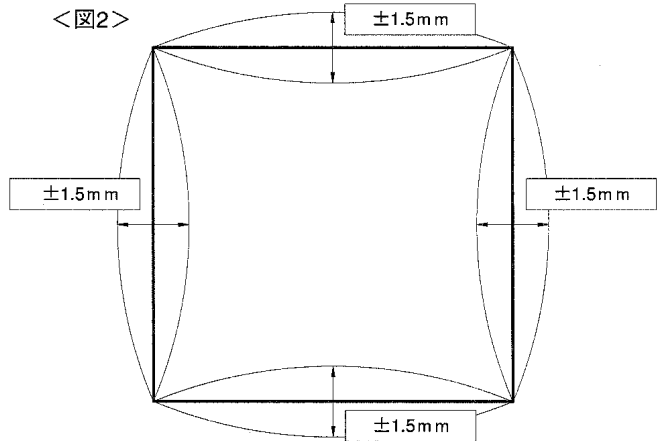
お願い

- 開口部の寸法差が限度を超えている場合は、窓枠部の修正が必要です。

＜図1＞



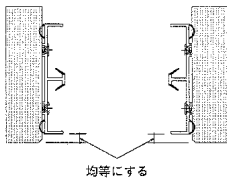
＜図2＞



2 枠の取り付け

- 直付タイプの為、各部分額縁に取り付けます。
- ① 縦枠の取り付け
- ・左右の縦枠を垂直にネジ止めして下さい。

縦枠納まり図

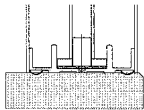


縦枠の位置は窓枠室内側から一定にして下さい。

② 下枠の取り付け

- ・中央を内側にたわませてはめ込み、ネジ止めして下さい。
- ※この際に同梱の障子ストッパーと一緒にネジ止めして下さい。(障子ストッパーには上下の区分はありません。)

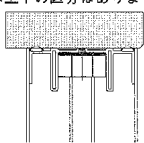
下枠納まり図



③ 上枠の取り付け

- ・切り欠きのない方から先に斜めにはめ込み、中央を内側にたわませながら次に切り欠きがある方をはめ込み、ネジ止めして下さい。
- ※この際に同梱の障子ストッパーと一緒にネジ止めして下さい。(障子ストッパーには上下の区分はありません。)

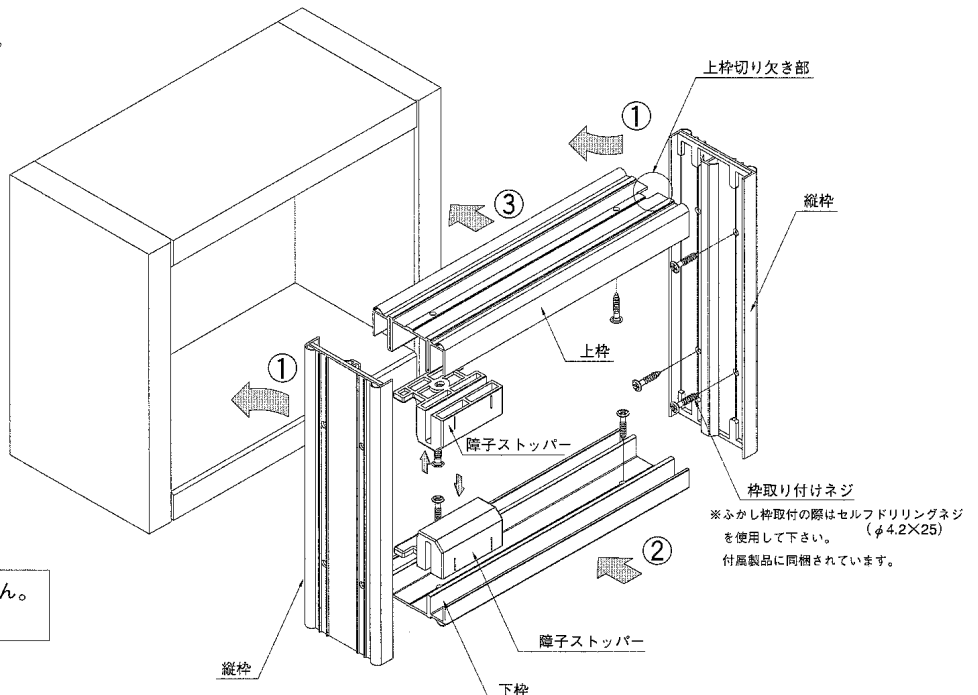
上枠納まり図



上下部材には室内・室外の区分はありません。
縦部材には上下の区分はありません。

お願い

- ネジ止めの際には枠材が変形しないよう締め付けて下さい。
- インパクトドライバー・高トルクの電動ドライバーは使用しないで下さい。
トルク調整可能な電動ドライバーをお勧めします。
2.0N・m (20kgf・cm) 以下のトルクで締め付けて下さい。
- 納まりによっては外窓のクレセントが本製品のクレセントと干渉する場合があります。
外窓のクレセントハンドルの飛び出しを確認し、当たらない位置に本製品を取り付けて下さい。
額縁巾が狭く、外窓のクレセントが当たる場合は交換が必要となります。
当社製品であれば別売クレセントを用意しております。



※ふかし枠取付の際はセルフドリリングネジ(φ4.2×25)を使用して下さい。
付属製品に同梱されています。

3 障子の組み立て

説明書番号 MN-1589

*下図は引き違い2枚引障子を示します。4枚引き障子の場合は、左右反対の障子が一對できます。

1 下図のように障子を組み立ててください。

① ガラスを上・下框を差し込みます。＜組込1＞

※ガラス端部と上・下框は左右均等になるように組み込んで下さい。(図1参照)

お願い

縦部材を先に差し込むと、上・下端の樹脂部材と当たり、組み立てられません。
上・下端樹脂部材の破損のおそれがありますので必ず上・下框からガラスに差し込んで下さい。

② 縦部材を組み込みます。＜組込2＞

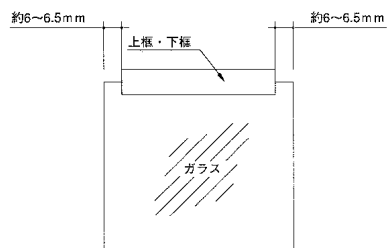
③ 同梱のビスセット内の組立ネジで確実に組み立てて下さい。

④ 障子組み立て後、キャップをはめ込んで下さい。

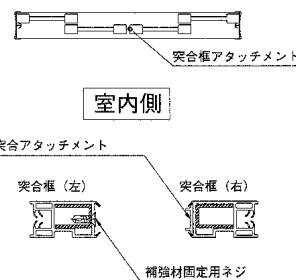
お願い

・1.5N・m (15kgf・cm) 以下のトルクで締め付けて下さい。
・本製品は使用ガラス厚3～5mmの為、特に5mmガラス使用時差し込みが固い場合は障子開口部に石鹸水、シリコンスプレー等を塗布して下さい。

＜図1＞



4枚引きの場合



突合框は、縦框と共通な形状ですが強度の関係で補強材の材質が違いますので注意して下さい。

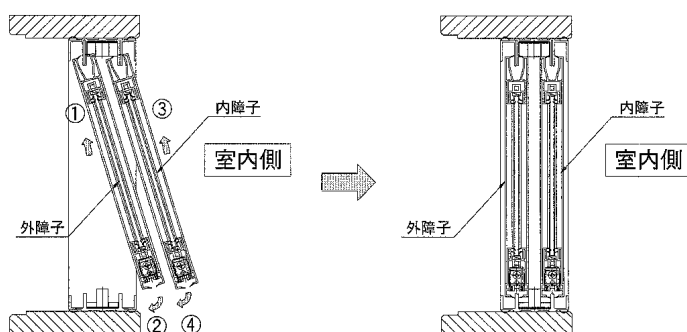
- ・突合框 (左) ……補強材を固定するネジが取り付けられています。
- ・突合框 (右) ……突合用のアタッチが取り付けられています。

組み間違いない様、ご注意願います。

4 障子の建て込み

1 障子を下図の手順で建て込みます

- ①、② 外障子を上枠のレールに呑ませ、下枠のレールに落とします。
- ③、④ 内障子を上枠のレールに呑ませ、下枠のレールに落とします。

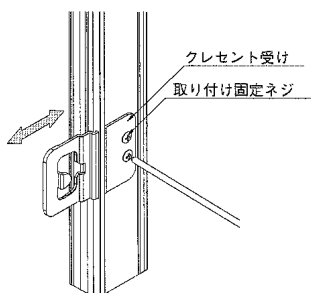


2 クレセント受けの調整

- ① クレセント受けの取り付けネジをゆるめて左右に動かして調整、施錠確認をして下さい。調整巾は左右各2mmです。
- ② 調整後は取り付けビスを締めて下さい。

お願い

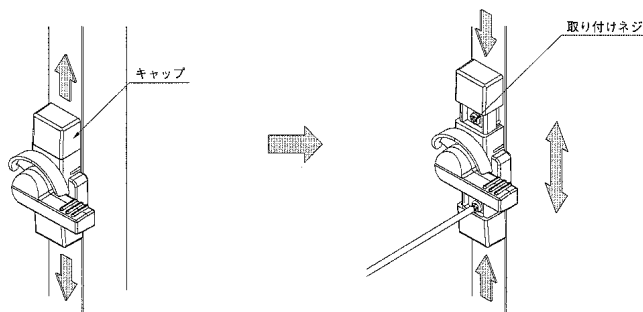
・クレセントを完全に廻してから、障子を開けて下さい。
中途半端な廻し方で障子を開閉しますと、外側の障子に当たり、キズや破損の原因となります。



5 建て付け調整

1 クレセント本体の調整

- ① キャップの両側を手でつまみ、上及び下へスライドさせます。
- ② 本体の取り付けネジをゆるめクレセントを上下に動かして調整、施錠確認をして下さい。調整巾は上下各4mmです。
- ③ 調整後は取り付けネジを締めて下さい。
- ④ キャップをスライドさせ、戻して下さい。



3 戸車の調整

- ① 戸車の調整ネジをドライバーで廻します。
- ② 右へ廻すと、障子が4mmまで上がります。
- ③ 建て付け確認後キャップをはめ込んで下さい。

